

第14回例会 福島市内ロータリークラブ新年合同例会 2021.1.4 (火)

■出席率 会員69名中42名出席60.87% 修正52名 75.36%
メイクアップ10名

◆会長挨拶 ホストクラブ会長
福島北ロータリークラブ 木村 春夫 会長

みなさん 新年あけまして おめでとうございます。

本日は「令和4年 福島市内ロータリークラブ
新年合同例会」にご参加いただき厚く御礼申し上げます。ご来賓の 福島県知事 内堀雅雄様、福島市長 木幡浩様をお迎えしての新年合同例会を開催できることに、重ねて御礼申し上げます。そして、「RI国際ロータリー第2530地区 ガバナー 志賀利彦様」からも新年合同例会へのビデオメッセージをいただいております。開催にあたり改めて感謝申し上げます。



今年度「福島市内ロータリークラブ 新年合同例会」ホストクラブの福島北ロータリークラブの会長を仰せつかりました木村春夫です。会員52名とともに務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様ご承知の通り、一昨年よりの新型コロナウイルス感染症により、昨年の新年合同例会は感染拡大により中止となりました。福島においても二回目のワクチン接種と新しい生活様式の実践により、徐々に落ち着いてきましたが、デルタ株から新種のオミクロン株へ変わりつつある今日において、今回の「新年合同例会」の開催にあたり、①新しい生活様式に沿った感染対策の徹底、②シアター形式での開催、③恒例の大懇親会の中止、④YOU TUBE 配信によるハイブリット方式により、開催の運びとなりました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今年度 国際ロータリーのシェカール・メータ会長のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。「ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です」とのメッセージから、市内各ロータリークラブ様におかれましては、コロナ禍での会員ご家族皆様の安全・安心に注意しながら例会・事業においてご苦労されていることと思います。本日 今年度の折り返し点におい

て、各ロータリークラブ様と同時にスタート 同じ時間を共有できることをロータリアンとして感慨深く思い、改めて感謝申し上げます。

今後も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が予想されておりますので、皆様におかれましては、くれぐれもご自愛ください。

◆来賓挨拶

福島県知事 内堀 雅雄 様

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、県民の皆様の命と健康を守るため、感染症対策に総力を挙げて取り組んだ一年でした。そのような中、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を始め、全国新酒鑑評会での金賞受賞数八回連続日本一、トップブランド米「福、笑い」のデビューなど、明るい話題も数多くありました。

また、震災と原発事故から十年が経過し、この間、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、避難指示の解除や生活環境の整備が進み、昨年末には、葛尾村や大熊町の帰還困難区域の一部において準備宿泊が開始されたほか、福島イノベーション・コースト構想の進展、復興支援道路である相馬・福島道路の全線開通など、復興に向けた取組が着実に前進しております。

一方で、複合災害からの復興はいまだ途上にあり、昨年政府が決定した「ALPS処理水の処分に関する基本方針」については、様々な懸念が示されています。県といたしましては、喫緊の課題である新型感染症対策はもとより、引き続き、原子力災害に伴う複雑で困難な課題の解決に努めるとともに、地方創生・人口減少対策などに全力で取り組んでまいります。

まず、新型感染症対策としましては、引き続き、県民の皆様に対し、基本的な感染防止対策の徹底をお願いするとともに、医療提供体制の充実・強化を図り、深刻な影響を受けている地域経済の再生・活性化にもしっかりと取り組んでまいります。

次に、避難地域の復興・再生につきましては、被災者の生活再建と産業・生業の再生を始め、廃炉と汚染水・処理水対策、帰還困難区域の復興・再生、風評と風化の問題など、現場の声にしっかりと耳を傾けながら、取組を進めてまいります。

また、新型感染症の影響により心身の健康状態の悪化が懸念されることから、健康増進に向けた取組を進め、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。



さらに、価値観の変化や地方移住への関心の高まりを的確に捉えながら、地域資源を活用した、福島ならではの地方創生・人口減少対策を進めてまいります。

今年4月には、新たな福島県総合計画がスタートします。この計画の下、県民の皆様と力を合わせながら、目標を一つ一つ実現してまいります。そして、県民の皆様お一人お一人が希望を持って暮らすことのできる未来を創るため、これからも果敢に挑戦を続けてまいります。今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

福島市長 木幡 浩 様

明けましておめでとうございます。

市内ロータリークラブの皆さまには長年にわたり、崇高な理念と社会奉仕の精神の基に、社会貢献活動を続けておられますことに対し、改めて心から感謝と敬意を表します。

とりわけ、このコロナ禍において医療機関等に従事する方々へのご支援に対しまして深く感謝を申し上げます。

私は、この度、市民の皆様のご支持をいただき、2期目の市政のかじ取りを担わせていただくことになりました。改めて気持ちを引き締め、重責を果たしてまいる所存です。

1期目は、中核市への移行、東京2020大会の開催、大震災から10年目という本市にとって大きな転機を迎える中で、多くの災難に直面しながらも、災いを成長の糧に変えて、「ふくしまの新ステージ」に向けた取組を足を止めずに前進させてまいりました。

しかしながら、現在も大きな壁となって立ちふさがっているのは、新型コロナです。国外では新たな変異株であるオミクロン株の感染が急増し、国内でも感染が確認されています。第6波やオミクロン株の感染拡大に備え、本市では、昨年12月から3回目のワクチン接種を開始したところです。皆様には、引き続き気を緩めることなく、基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。

また、市民が住み続けたいと願い、人が集まるまちを目指して、暮らしと環境の安全安心を強固に、子育て・教育で選ばれる都市となり、将来にわたりやっていける仕事を増やし、心豊かに楽しめる賑わいと文化を振興して、都市としてのグレードアップを進めてまいります。併せて、女性が活躍できる環境づくりと人に優しいデジタル化を推進し、移住定住の促進にも取り組んでまいります。



コロナを越えて希望の未来を共に創るべく、引き続き「開かれた市政」と「スピードと実行」をモットーに全力を挙げてまいります。

結びにロータリアンの皆さまには、地域社会のリーダーとして今後ますますご活躍されますことをご期待申し上げますとともに、本年がコロナ禍からの夜明けの光が差し、皆様にとって健康で幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げ、挨拶いたします。

◆各クラブ 活動報告

市内8ロータリークラブの会長から、活動の報告があり、コロナ禍の中、リアルとバーチャルを併用した例会の開催など、苦勞しながら工夫した活動の報告がありました。

当クラブの一條会長からは、今年のテーマは「奉仕の理念を学び、実践しよう」とし、例会の在り方を変えてみようとスタートした。年間33名の会員スピーチを予定し各々の会員が持っている奉仕の理念を学び合う例会。意欲的なスピーチを聞くことによって例会を楽しくロータリーを楽しくし、出席する例会から参加する例会に変化させた。会長、幹事が作るのではなく、会員全員で作りに上げる例会を行っていることが報告されました。



◆次回開催報告 第15回 2022.1.19

- ・誕生祝い・ロータリーの友読みどころ・米山奨学金授与
- ・会員スピーチ12 鈴木 光一 会員 「66年の道のり」
- ・会員スピーチ13 林 克重 会員 「奉仕の理念と職業奉仕」

◆クラブ会報委員会より

新年あけましておめでとうございます。

今年も皆さまからの原稿や情報提供などのご協力をお願い致します。今年一年が会員の皆さまにとって、素晴らしい一年になりますこと、心からお祈り申し上げます。

